**の音楽（ウェブテキスト）**

日本の国民的楽器がで、13本の弦を持つ長い木製のツィターの一種であり、フィンガーピックで弾きます。その歴史は1,300年にさかのぼり、今も独奏や合奏で親しまれています。

**続きを読む**

17世紀まで、は主に貴族の趣味を反映したもので、雅楽という宮廷音楽でよく使われていました。概ね平和な時代であり、多くの舞台芸術が栄えた江戸時代(1603年～1867年)には、庶民の間で人気が高まりました。（1614年～1685年）という名前の盲目の音楽家・作曲家は、現在知られている筝の音楽の基礎を築いたと考えられており、を芸術としてより身近なものにしました。現在、の演奏は、伝統的なから西洋楽器との合同の演奏会まで、あらゆるものを網羅しています。日本伝統文化入門公演～ギオンコーナー～では、によって作曲された曲をはじめ、代表的なの曲を選んで提供しています。